

太

陽



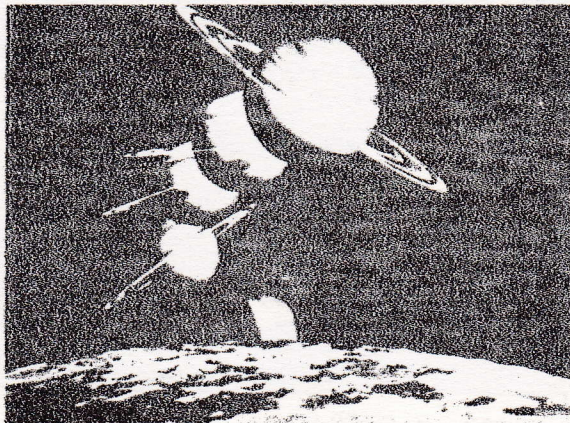
3



日本GAP紀南会

—— 卷 頭 言 ——

先月にあるテレビでテレビ映画を観た。内容は日本的な面白い怪獣の生活のストーリーで涙ぐましいものだった。一度は観てしまったが、その後は気分が悪くなり、すぐテレビを消してしまった。はっきり言って人間に与える悪影響は、ものすごいものだと思う。こういう事は皆様も経験した事はあるのではないのでしょうか。それまで気分が良かった事だ。このままではだめだ。寝ころび、でっかい笑顔のイメージを聞き、「生命の科学」を少し読め。軽やかなロック音楽や、民族音楽を聴いて、1時間経つと、胸がスーとして、気分が良くなりました。それ以来、悲しいドラマや、悲味のテレビを観る事をしなくなった。で、とゆーたりとくつろげるような、科学的な精神的に良いものを観ようかと思うます。少々の事は、こゝろ一切消滅して読んだことは有り。読んだ事をしていかなさう。自分にとって必要な知識を、得るためには、書物を読んでいる。人は即ち人生をたいものである。



あのスターウォーズを超えるSF X(特撮)映像が目の前に広がる

意識の世界へ

小川隆志

久保田先生の講演テープ(3月)で久保田先生が力説されている宇宙の意識の中にのめりこみ、その世界に自分さのめりこましてしまうこれが本当に重要なことだと私も感じます。特定の時間、楽しい音楽を聴いて、リラックスして、フィーリングを高めるこのことも大切で、30分リラックスすることが、毎日できるようななれば、いつでもリラックスの状態を保つことがある程度可能になると思います。しかしそうではなくて常に宇宙の意識を感じようと、生物の中に現われる生命、因を見るように心を指向けること、宗教的木甲しねま
(2)

せんが、自分ふくめたすべてのものが神だと常に思い、すべての事に創造主の力を、思うようにそのフィージングを起こし毎日生活しなければ本当の力、宇宙的人間に変えることは必ずしもしいと思いません。久保田先生の力説されてゐることもよくない少しづつがもてあそばさるが、私は久保田先生も、頭で考えよのではなくて、体全体でその世界へのめりこませなくちゃだめだと、本当に言いたいのだと思いました。あつてり概念にとらわれず自分をただ一日の人間と考えずフームにとらわれずすべてをその世界に放りださなくてはいけないのだとあらためて感じました。これこそ頑張ります。

ある視点

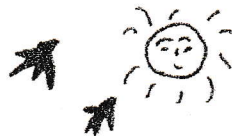
松口幸え助

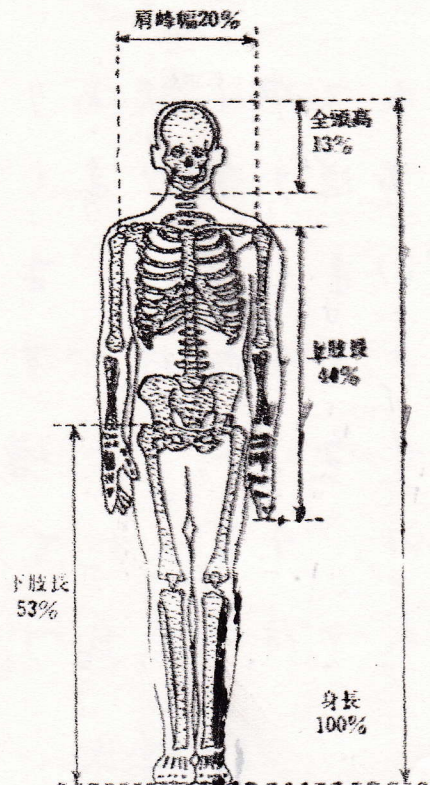
人間は無情なるものでしょうか。

大きく分けて、社会的や個人的なものがあるでしょう。一つ言える事は、人間は宇宙の創造主に祝福されて生れてきたのではありませんか。それに気付けば良いのではないのでしょうか。非宇宙的な運動や活動は、いずれは消えていくでしょう。自分の考えや行動は、注意をしなければ、とんでもない方向に進み、真に人類のためにするならば、感情をコントロールをし導かなければなりません。そのためには「ミラクルワード、イメージ」法が基本原則になると思います。 は、より言。て

僕を心に振り回されていると思います
すが、しかし宇宙哲学を学ばずか
ながら実践をしています。段々と
理解ができてくると思います。

久保田先生が言っていましたように、
"大宇宙が味方だ"、これを痛切に感じ
ることがあります。光に向って進む
か、闇に向って進むか、本人しだい
だと思いますが、後者は心によって
生きている、自身の内部が印象でし
って語りかけているのが、理解でき
ないのだと思います。だから私達
も積極的に真の宇宙的な生き方を、
できるだけ多くの方々に伝える、任
務があるのではないでしょうか。





人体のプロポーション

長さの比率で、身長を100%としたときの各部の百分率である。これにも、もちろん若干の個人差がある。左右の上肢を横に水平に伸ばした時の、左右の指さき節の距離を指幅(しきょく)という。指幅は身長よりも僅かに長い。

人体コーナー

「人体解剖学入門」
創元医学新書より

(6)

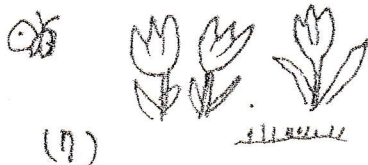
太陽広場

千葉県 遠藤昭則

返事が遅れて申し訳ありません。
「会報」をお送り下さりまして、ありがとうございます。
また新しい星が生まれるような気持ちですわ。この輝きを曇らせないよう、増々広げていって下さい。千葉県でも応援しています。それではお元気で。

船橋市 安藤澄子

この度紀南会会報をお送りいただきましてありがとうございます。
拝読し、松江さんをはじめ皆様のご熱意が感じられ励まされました。



(17)

紀南会月例研究会

和め、真剣にアダムス—哲学の探究と
実践をめざして、語り合いを不断に
進め、人的成長をめざし頑張る。そして
真面目な探究者のご参加をお待ちしています。

★ 毎月第4日曜日 RH12:00～RH5:00
(但し4月は第3日曜日)

★ 会場 新宮市福祉センター 相談室

★ プログラム

東京本部月例会の久保田会長のテレビ—開発法、随
時講演をテーマとする。テレビ—系演習、座談会

★ テキストとして

平泉博士の訪問者、とテレビ—開発法(文芸春秋)
をお手紙下さい。

編集後記

○ 静岡支部大会が4月28日(日)に開催されます。
新しい企画が楽しみです。皆様ご参加下さい。

○ 会報3号をお届けします。

支部報、遠方まで感想を頂きありがとうございます。
会員一同うれしく思います。

これからのご感想、ご投稿をお待ちしています。
どうぞよろしくお願いいたします。

(K、M)

1985年3月25日発行

日本GAP紀南会報第3号

編集発行人 松口幸三郎

発行所 日本GAP紀南会

〒512-58 三重県南牟婁郡紀宝町平尾993